

#デトックスやろう  
#カエルもわかる農薬の話

くまもとのタネと食を守る会

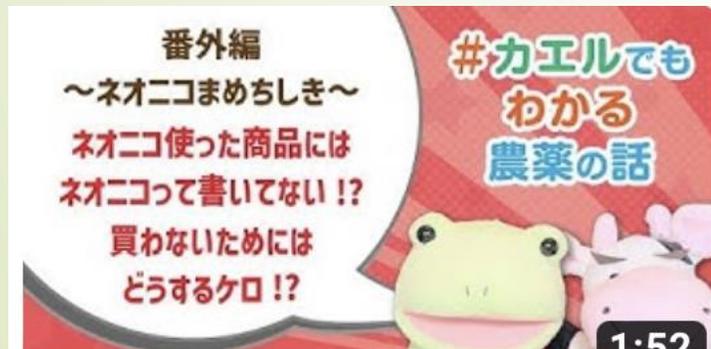
2022年度 アクト・ビヨンド・トラスト 助成事業

# 農薬の問題は専門的で難しいが、私たちはあくまで分かりやすさをめざした。

- ▶ 1年目の企画への参加者が、独自でデトックスプロジェクトを実施した。それを一過性のものとせず広めていくために、くまたねでも継続して実施した。

(限定10名、そのうち2名は1ヶ月)

- ・内容的には、微量農薬の長期曝露が、健康特に子どもにあたえる影響を学ぶ。
- ▶ その内容を次世代を担う若者に伝わるように深める。
  - ・カエルのパペットを使った短い動画を作成。
  - ・デトックスプロジェクトの意味や微量農薬の長期曝露の研究結果を、わかりやすく語ってもらう。
  - ・ネノニコチノイド0を国が言い始めたが、その代替え農薬といわれる RNA 農薬も、まだ未知のものだが、カエルに教えてもらう。



# デトックスプロジェクト：これまで有機農産物をあまり意識して食べていない人をモニターさんとして公募し、実施しました。

- ▶ デトックスプロジェクト：これまで有機農産物をあまり意識して食べていない人をモニターさんとして公募し、実施しました。
- ▶ 配布食材に飲料水を入れることをアクトの審査の時提案があり、それを採用したのですが、これがとても大変でした。
- ▶ 報告書は、今後デトックスプロジェクトを企画したいという人の手順書となるものを目指しました。
- ▶ 2023年度の企画につながっていきました。
- ▶ 「#カエルでもわかる農薬の話」の動画は、講師がカエルと話すという形をとったことで、どの講師も専門的な難しい話を、子供に伝えるようにとてもわかりやすく話してくれていて、カエルのマジックがおきています。
- ▶ スタッフも脚本作りから、声の出演まで、楽しくノリノリでやってくれました。



# 課題：それでも難しいと言われた！！

## 水の配布は難しい

- それでカエルを使った星先生の話など、私たちはとてもわかりやすいと感動したのだけれど、それでも難しいらしい。
- それでも、化学的根拠を持って農薬の問題を語ることを基本とする立場は堅持したいので、2023年度は、この動画を見る会をオーガニック関連のお店との連携でやることとする。
- 日本の飲料水について学術的にもまだ検証中のような状況で、デトックスプロジェクトで配布する食材の一つとすることは、以下のような理由で、無理があるかもしれないと考えている。公共の水道水の検査項目にもネオニコは入っていない現状がある。
  - 1) 今回配った量では、野菜や米を洗うときには水道水を使わざるを得なかったことがモニターから提出された生活記録表から明らかとなっており、超微量の農薬検査を目的とする今回のような場合では、水の配布の量が十分ではなかったかもしれない。
  - 2) デトックスプロジェクトモニターが、モニター終了後、生活の中で日々デトックスをしたいと思った時に使う水を選択肢を示せないということは大きな欠点ではないか。活性炭を使った浄化法もあるが、それを蛇口につけるぐらいでは農薬は除去されない。

今年度は井戸水を飲んでいるモニターさんの井戸水と地域の水道水の年間を通じたネオニコと硝酸態窒素の検査を行うこととした。